

普及誌「はくさん」(第 54 巻第 2 号)の発行について

1 趣旨

石川県白山自然保護センターでは、白山地域の自然・文化及び自然保護意識の正しい理解と普及を図るため、普及誌「はくさん」を年3回発行しています。このたび最新号となる第54巻第2号を発行いたしましたのでお知らせします。

2 執筆・編集

当センター職員が日頃の調査・研究や業務をもとに執筆し、編集を行っています。

3 規格等

- 規格:A4版 16頁(カラー)
- 印刷部数:1,500部
- 主な配布先:関係行政機関、図書館、博物館、中学校、高校、大学、一般来館者等

4 主な掲載内容

- 白山に生息するゴミムシ類の生息状況の変化(平松 新一)
地球温暖化や環境変化が、白山の高山帯に生息するコイケミズギワゴミムシなどの小型種や、分布高度を上昇させている大型種のゴミムシ類に与えている影響について、長期的なモニタリング調査の結果から詳しく紹介します。
- 白山手取層群から活火山・白山へ ～1億5000万年の地殻変動を読む～(松本 政彦)
手取川流域の地層が記録する「海から陸への環境変化」の歴史や、異なる時代に生まれた新旧の山々が組み合わさった活火山としての白山の重層構造、河原の石が語る太古の記憶についてわかりやすく解説します。
- 【特集】白山と日本列島誕生のダイナミズム ～西之島から白山へ！最新科学が明かす「大陸進化のシナリオ」～(田村 芳彦)
海洋研究開発機構(JAMSTEC)の最新研究をもとに、地球上でなぜ大陸(安山岩)が残り続けるのかという謎に迫るとともに、「令和6年能登半島地震」の引き金となった地下深部の「化石海水」と日本海誕生の壮大なストーリーについて紹介します。
- ブナオ山観察舎川柳(八神 徳彦・後藤 理子・中田 勝之)
冬期開館中のブナオ山観察舎のスタッフが、大掃除でのカメムシの大群との格闘や、豪雪の中でたくましく生きるイノシシ、憧れの猛禽類イヌワシを待つ日常の風景などをユーモラスに詠んだ川柳を掲載しています。

5 その他(入手方法など)

普及誌「はくさん」は、白山自然保護センター、中宮展示館、市ノ瀬ビジターセンターなどの各施設で無料配布するほか、当センターホームページにてPDFファイルを公開します。

また、郵送をご希望の方は、住所・氏名・電話番号を明記の上、送料分の切手(140円/冊)を添えて下記までお申し込みいただけます。

● 申込・問い合わせ先

石川県白山自然保護センター 〒920-2326 白山市木滑ヌ4
TEL:076-255-5321 FAX:076-255-5323
E-mail:hakusan@pref.ishikawa.lg.jp
URL:https://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/